

10月8日

朝6:00

裏岩手縦走に出発したよ!

▼ 6:50 畚岳山頂。カメラを構えて写真を撮っている方もたくさんいました。きれい... ✨



畚岳(1578m)山頂からの雲海。東の方向を見ています。岩手山のシルエットのまわりには、雲から豆貝を出した姫神山(1,123m)が見えます。



畚岳山頂の南西方向には秋田と山形の県境、鳥海山(2,236m)が見えました!!

今日のコース 畚岳登山口~松川温泉 13.4km、8時間40分

マウンテンホテル → 畚岳登山口 → 畚岳山頂 → 諸検岳 → 石沼 → 前諸検
6:00 (車) → 6:30 → 6:50 (車) 7:05 → 8:20 → 9:00 → 9:25

→ 嶮岨森 → 大深山荘 → 大深の水場 → 源太ヶ岳・三ツ石分岐 → 源太ヶ岳
→ 10:00 (休憩) 10:15 → 11:25 (お昼) 12:00 → 12:15 → 12:50 → 13:10 (休憩) 13:20

→ 源太ヶ岳水場 → 松川温泉 → ホテル
→ 14:00 (休憩) 14:10 → 15:10 (車) → 15:30

源太ヶ岳山頂へ続くハイマツ帯



源太ヶ岳の水場
 ブナやタケカンバの森の中を
 通って湧くせいかとても口あたりが
 やわらかく甘さを感じるおいしい水
 です。



源太ヶ岳中腹からの岩手山



源太ヶ岳山頂からの眺め



大深岳の水場
 手作りのひやく(重い水)を使って
 飲むとおいしいです。周りの野原は
 夏にはお花畑に変わります



畚岳を下山して、いざ裏岩手
 縦走入。一旦下り坂になり、
 登り返して諸検岳を目指します。
 縦走路沿いにはタロネやカマドの
 赤い実がたくさんなっていました。



大深山荘

冬も使えるように2階部分にも入口が
 あります。トイレも完備。
 水場まで5分くらい行けます。



石沼。ほんとに石沼でかい...



嶮岨森をすぎて眼下に紅葉の鏡沼

諸検岳へ向かう途中の笹原



今年最後の輝き

今年の高山植物も見納めです。
さみしいなあ...



▲ミヤマキンボウゲ



▲ミヤマキンバイ



あじさいに似てるよね

このお花は **リウツギ**。アジサイの仲間です。
お花のように見えるところは萼(かく)で、
本当のお花は真ん中の小さな粒立の所。
昔ながらの製法で作る和糸は、
コウゾの繊維とリウツギの樹皮を煮て
作った糊で作られています。



▲ミヤマアキノキリンソウ

シダだって咲きます

ヒカゲノカズラやマンネンスキは原始的なシダの仲間です。ヒカゲノカズラの胞子はリンゴの受粉作業の際に花粉の付着を増やすために使われることもあります。



▲ツルリンドウ



▲ヒカゲノカズラ



▲マンネンスキ
黄色い所に変わると胞子がとびます

赤い実 
白い実 
青い実 

▼マイヅルソウの実



▲イチイの実



▲シラタマノキ



◀オハスギ
ブルーベリー
の原種です。
とっても
すっぱい!!



▲ツルリンドウの実



▲ツバメオモトの実

うまい具合に
重なりましたが
葉っぱは
ツルリンドウ
です。

うちのおじいちゃんの昔話



▲コケモモの実

うちのおじいちゃんが20歳の頃(生きていれば100歳を超えているので80年以上前)、現在のサハリンと交易している船の乗組員だったそうで、当時マヒロと口平はれていた町に行ったときに、町のまわりの広大な里原にコケモモの実が一面に実っていて、町の人たちはその実を集めて木の樽に入れて、ワインのようなお酒を作って飲んでいたんだそうです。

子供の頃、サハリンに住んでいたという、矢張りあのおじいちゃんも、冬の野菜が手に入らないうちはコケモモを漬けたものを料理に使っていたと言ってくれました。戦争でサハリンを脱出しなければならず、岩手に移ってきたそうですが、もう一度、懐かしいコケモモの味を味わってみたいと言っていました。

紅葉

⑨ 裏岩手縦走コース



▲ 源太ヶ岳 中腹の紅葉



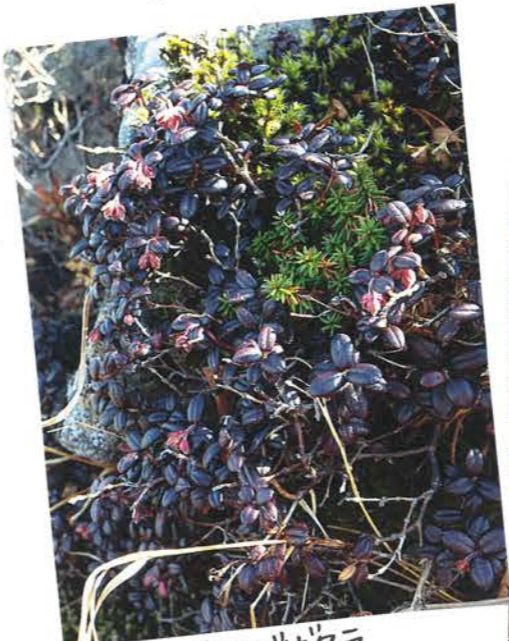
▲ オオカキノキ



◀ ミヤマホツツジ

実はも葉っぱにもアントシアニンがいっぱい

▼ オオバスノキ



▼ ブナ

▲ コメバツカサクラ
黒っぽい紫に紅葉するよ



ナナカマド ▶



▼ ダケカンパ



▼ マルバシモツケ



▼ コメツツジ



▲ ミネカエデ

ミネカエデは黄色にも赤にも紅葉します



▲ ミズゴケ
コケも紅葉してました



▲ コゼンダクハナ